

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

3・4・5 歳児

つき・ほし組

## 1. 活動のテーマ

### <テーマ>

植物の生育

～種からひまわりを育ててみよう・稲を育ててお米を収穫しよう～

### <テーマの設定理由>

- ・園の特色として、園内には多くの植物が生育されており、普段から様々な植物に触れていることからこのテーマを設定した。
- ・以前より花や野菜などの生育に取り組み、子どもたちも大いに興味を持っていたため、さらに関心や理解を深めたい。
- ・サンシェードを設置したことにより、夏季でも屋外で観察や世話が可能になった。最初から最後まで生育を観察することができる。

## 2. 活動スケジュール

### ☆ひまわりの生育

- ・ひまわりを育ててみることを提案し、視聴覚教材等でひまわりについて知る。
- ・土、腐葉土、肥料などを準備し、土作りを行う。
- ・種を蒔く。
- ・水やり等の世話をする。
- ・随時体高を計測し、成長を記録していく。
- ・花が咲いたら観察する。
- ・枯れた花から、花びらの枚数を計測する。
- ・種を取り、数を数える。
- ・次年度のために種を保存する。

### ☆米の収穫

- ・日常の中で畑の土に触れる経験をする。
- ・視聴覚教材等で米について知る。
- ・バケツ、プランターへの土入れを行い、水を張る。
- ・地域の米屋さんの指導の下、田植えを行う。
- ・水やりを行う。
- ・鳥よけを設置する。
- ・収穫し、乾燥を始める。
- ・乾燥した米を脱穀し、精米機で精米する。
- ・炊いて食べる。

### 3. 探求活動の実践

#### ☆ひまわりの生育

- ・ひまわりという花の存在は多くの子が知っていたが、その生態を知る子はほとんどおらず、導入を行った時点から強い興味を示していた。
- ・体高を計測したり花びらや種の数を数える活動に取り組む中で、数字に対して興味、関心を示す子がおり、その後に自分から数を数えたり数字を書いて覚えたりする活動に取り組む姿が見られた。
- ・体高を計測していく中で「ももぐみさん(0歳児クラス)くらいかな?」「もっとおおきくなるの?」と友だち同士で言葉を交わしながら観察する様子が見られ、花が咲き保育士よりもはるかに大きくなったひまわりを見ると「せんせいよりおおきい!」「すごーい!」と歓喜の声に溢れていた。
- ・きれいに咲くひまわりを前にして、「みんなでしゃしんがとりたい」という声上がり、喜んで撮影に望んでいた。
- ・普段、あまり植物の生育などに興味がない子でも、どんどん大きくなっていくひまわりに興味を持ち、積極的に世話をしたり観察をする姿が見られた。



おおきくなって  
いるかな?



おせわのあとはいっぱい  
あそぼう!



きれいにさいたよ!



たねがこんなにたく  
さんあったよ!

## ☆米の収穫

- ・すでに精米された状態の米を知る子しかほぼおらず、玄米の状態や稲穂を教材で紹介すると、関心はあるもののイメージができていない様子も見られた。
- ・田植えをしていると乳児クラスの子も興味を持って近づき、一緒に田植えを行った。先にやっていた幼児クラスの子たちが教えてあげる様子などもあり、園全体として田植えを行うことができた。
- ・米屋さんの指導は、興味を持ってよく聞いていた。
- ・稲を鳥や動物から守ったり、収穫してからもたくさんの作業があったり、白米になるまでたくさんの工程があることを経験し、子どもたちからは「たいへんだね」「これはなんでつけるの？」などと声が聞かれ、今まで生育してきた花や野菜とは違うことを少しずつ理解していった。
- ・収穫された米を食べる際には、自分たちが育てたお米だという誇りを胸にしなが、喜んで食べている様子があった。



おしえてください！



みてみて！



ぜんぜんいろがちがうね



おいしくたけるかな？

#### 4. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

- ・ひまわりも米も身近に感じているものだったため、子どもたちも抵抗感なく取り組みに参加し、近くでじっくり観察することで、子どもたちの好奇心を大いに刺激することができた。
- ・どうしても夏季に途切れてしまう観察や世話が、サンシェードを設置したことにより十分に活動を楽しむことができ、興味が途切れることなく取り組むことができた点はよかった。
- ・ひまわりも米も上手く育てることができ、自信と達成感へと繋がった。3歳児と4歳児からは「またやりたい!」「来年も育てたい!」という声も聞かれ、次年度へとつながる活動となった点もよかった。